

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 8 月 29 日 (18 : 00 ~ 19 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 多賀、宮崎、森、高木、北村、森山、大倉、川西、鶴田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	8 人	1 人	人	9 人

前回の改善計画
施設のイベントや、誕生日支援などの機会も利用し、家族との関係性を築けるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
昨年の夏祭りには家族を招待し、交流することができた。一部の利用者様と家族と一緒に誕生日支援ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		8	1		9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		8	1		9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	6	1		9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	2	6		9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">カンファレンスや業務中での情報共有ができている。面会や送迎時に家族と話ができるように努力している。本人が慣れていない時期は、特に声掛けや対応の仕方を本人に合わせるように気を付けている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">送迎時に直接会話できない家族とは接点が少なく、不安に思っていることなどを知る機会がない。家族と交流できる機会が少なく、挨拶だけで終わってしまうことがある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none">施設の大きなイベントは限られているため、誕生日支援の機会を利用し、担当職員と家族との関係性を深める。こちらから積極的に家族へ声をかける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 8 月 29 日 (18 : 00 ~ 19 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 多賀、宮崎、森、高木、北村、森山、大倉、川西、鶴田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	6人	人	9人

前回の改善計画	日々の「～したい」から実現できるようにする。意思疎通困難な方の「～したい」に関して気付いたことをカンファレンスにて共有し、対応できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	意思表示ができる方へは、できる限り個別で対応できた。意思表示が困難な方に関しての対応が難しく、カンファレンスでも共有ができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		4	5		9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6	3		9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		5	4		9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		3	6		9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ したいことを聞きながら対応できている。 ・ 誕生日の外出や、外食など、個別に支援できている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 意思疎通が困難な方の、したいことへの支援がなかなかできていない。本人が本当に望んでいることなのかわからない。 ・ カンファレンスで話し合っても、実際うまく支援できていないと感じる。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、意思疎通困難な方の「～したい」に関して、気づいたことをカンファレンスにて共有し、対応できるようにする。 ・ カンファレンス以外でも気づいたことや思ったことを現場で共有していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 8 月 29 日 (18 : 00 ~ 19 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 多賀、宮崎、森、高木、北村、森山、大倉、川西、鶴田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	2人	人	9人

前回の改善計画	カンファレンスにて、担当している職員が気づきを発表し、それに対する対応の仕方を統一する。
前回の改善計画に対する取組み結果	カンファレンスにて話し合い、対応の仕方を統一できるようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?			8	1	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	8			9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		3	6		9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	8			9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	6	2		9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・食事形態や体調の変化に関することなど、他の職員と共有し、支援ができています。 ・日々の気持ちの変化に、臨機応変に対応できている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・以前の暮らし方が 10 個以上は把握できていない。 ・個人の考えで、ケアの仕方を途中で変えてしまうことがある。 ・些細なことは申し送りに書かないことがあり、伝達にもれがある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスにて話し合ったケアのやり方は、全員が統一できているか定期的に確認するようにする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 7 月 29 日 (18 : 00 ~ 19 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 多賀、宮崎、森、高木、北村、森山、大倉、川西、鶴田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	6人	3人	9人

前回の改善計画

利用者様が暮らしている地域の民生委員の把握、情報交換ができる環境をつくる。

前回の改善計画に対する取組み結果

介護職員が直接民生委員と関わったり、情報交換をする機会をつくることは難しかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		5	4		9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		2	6	1	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		2	7		9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	7	1	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・本人のこれまでの生活スタイルはできるだけ変えないようにしたいと思っている。
- ・民生委員とは必要時連携している。
- ・本人との会話で把握するようにしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域との関わりについて把握できていない。
- ・泊りが多いと、地域とのつながりが希薄になってしまう。施設のサービスのみで対応してしまうことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・こちらから家族へ積極的に声をかけ、一緒に外出できる機会を増やす。施設においても、できるだけ外出する機会を増やす。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 8 月 29 日 (18 : 00 ~ 19 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 多賀、宮崎、森、高木、北村、森山、大倉、川西、鶴田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	4人	2人	9人

前回の改善計画	外部と関わる機会がない職員もいるため、外部との情報交換や連携についての内容を職員間で共有できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	重要な情報は共有したが、軽微な情報は共有できなかった。また、看護師や一部の職員しか共有できないこともあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		1	6	2	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	5	1	1	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	7	1		9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	5	3		9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・成年後見制度や、日常生活自立支援事業、見守りシール交付事業などのフォーマルサービスや、インフォーマルな生活支援サービスを利用している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域資源についての研修不足。 ・長期の泊りの方は地域資源の活用があまりできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・地域資源にはどんなものがあるのか、研修にて理解を深める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 8 月 29 日 (18 : 00 ~ 19 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 多賀、宮崎、森、高木、北村、森山、大倉、川西、鶴田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	4人	5人	9人

前回の改善計画

地域の会議があればできるだけ介護職員も参加できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

介護職員も参加できるように努力しているが、勤務調整が必要になるため、頻度を増やすのが難しい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		1	3	5	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		3	2	4	9
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		1	6	2	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		3	3	3	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・その他のサービス機関との会議は必要があれば行っている。
- ・地域住民の方が、野菜や花を持ってきて下さることがある。
- ・西地区センター祭りに、作品を毎年出展している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・会議に参加していても参加する職員が限られている。現場の職員がなかなか参加できない。
- ・こちらから出向いて地域の活動への参加ができていない。溝掃除以外、参加できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

・(引き続き) 会議があればできるだけ介護職員も参加できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 8 月 29 日 (18 : 00 ~ 19 : 00)

7. 運営

メンバー 多賀、宮崎、森、高木、北村、森山、大倉、川西、鶴田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	3人	5人	1人	9人

前回の改善計画	まずはイベントを通して、定期的に地域住民との交流ができる機会を確保する。
前回の改善計画に対する取組み結果	たけのこ祭りは地域の住民の方に喜んでいただいているので、これからも継続していきたい。子ども向けのイベントも行えると良いと思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		3	5	1	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		5	2	2	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		4	2	3	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		1	5	3	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・運営推進会議にて、意見を聞いている。 ・利用者様の普段の声を、業務に反映できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・自治会の活動への参加がほぼない。 ・地域住民の方との交流がほとんどない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・地域の保育園との交流を再開する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 8 月 29 日 (18 : 00 ~ 19 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 多賀、宮崎、森、高木、北村、森山、大倉、川西、鶴田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	1人	5人	3人	9人

前回の改善計画

(事業者・小規模多機能) 連絡会について知らない職員もいるため、連絡会の内容をミーティング等で職員間で共有するようにする。できるだけ多くの職員が連絡会に参加できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

少しずつではあるが、介護職員も連絡会や大垣市の研修に参加できるようになった。研修会の内容は、後日社内研修で共有している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	4	3		9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		5	2	2	9
③	地域連絡会に参加していますか	1	4	2	2	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		5	3	1	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 定期的な内部研修や、外部講師を招いての研修ができている。
- 以前に比べヒヤリハットを記入する職員が増えた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 外部の研修や、資格取得に興味があっても、時間や金銭的に余裕がなく実現できていない。
- 業務を優先してしまい外部での研修への参加があまりできていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

・ほぼ決まった職員が内部研修を担当しているが、どうしても他の職員が受け身になってしまう。できるだけ全員が研修を担当できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 8 月 29 日 (18 : 00 ~ 19 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 多賀、宮崎、森、高木、北村、森山、大倉、川西、鶴田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	人	人	9人

前回の改善計画
虐待につながる可能性のある不適切ケアや、無意識に行ってしまうスピーチロックについて、繰り返し研修を行い、意識づけをする。
前回の改善計画に対する取組み結果
研修を繰り返し行うことで不適切ケアやスピーチロックに関する意識づけは徐々にできてきているが、継続することが必要である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	4	5			9
②	虐待は行われていない	2	7			9
③	プライバシーが守られている	1	7	1		9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	4	2	2	9
⑤	適正な個人情報の管理ができています	1	7	1		9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・研修で学び、身体拘束、虐待について常に意識している。 ・スピーチロックに気を付けながら対応している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・忙しくて余裕がない時に、つい対応が疎かになってしまうことがある。 ・他の職員の不適切ケアやスピーチロックに気付いても、注意することができない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・無意識に行ってしまう不適切ケアについて、実際の現場での例を挙げながら研修を行う。外部研修の機会があれば、できるだけ参加してもらう。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 KMH	代表者	馬淵 克也	法人・事業所の特徴	利用者様・ご家族様のことを、心の底から一番に考えられる施設であること。人と人のつながりを大切にし、利用者様・ご家族様・地域の皆様に愛される施設を目指す。
事業所名	小規模多機能ホーム わかもり	管理者	鶴田 英之		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	1人	1人	人	3人	人	7人

項目	令和6年度の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価の機会以外にも、改善が必要なことは放置せずに、カンファレンスなどで積極的に話し合いを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の業務中に職員が気付いた改善が必要なことについては、カンファレンスで話し合いができています。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員さんが行った自己評価の内容は、来所した時見ている現実通りだった。 スタッフさんの名前がわかると、もっと話しやすい。 ご利用者の「以前の暮らし方」については、10個以上把握できていなくても支援はつなげられると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続・自己評価の機会以外にも、改善が必要なことは放置せずに、カンファレンスなどで積極的に話し合いを行う。 新規・職員の名前がご家族にわかるようにするための方法を職員間で話し合い、実行する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 施設内の居心地の良さや、清潔感はいくらも大切にしていきたい。施設が狭く、物がすぐに溜まってしまうので、整理整頓を心掛ける。 来訪されるご家族や地域の方へは元気に明るく挨拶をすることを心掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> レクリエーションで使用したものが出しっぱなしになったり、日々の整理整頓がなかなかできなかった。 来客者への挨拶はできていると思うが、明るさや元気がない時がある。 環境整備委員会の活動により、菜園での野菜作りを継続している。また、事業所の雰囲気が明るくなるよう、プランターで花を育てている。 事業所内の保護猫により、ご利用者やスタッフが癒しを与えてもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所はアットホームで入りやすい雰囲気になっていて、職員さんも明るくて印象が良い。 日中事業所の玄関に鍵がかかっているかどうかわからなかったため、わからないにチェックした。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続・施設内の居心地の良さや、清潔感はいくらも大切にしていきたい。施設が狭く、物がすぐに溜まってしまうので、整理整頓を心掛ける。 継続・来訪されるご家族や地域の方へは元気に明るく挨拶をすることを心掛ける。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 保育園児との交流は数年間行っていないため、再開したい。 自治会の溝掃除には毎回参加できている。これからも継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 地元の老人クラブとの交流を持つきっかけが作れたが、老人クラブ側の都合もあり交流には至らず。 保育園児との交流は、今年度中に再開予定だったが、ご利用者の感染 	<ul style="list-style-type: none"> 困りごとや相談事があった場合に事業所に直接相談するかどうかは、その内容によると思う。 この地域の行事などがほとんどないが、あれば事業所のスタッフは参 	<ul style="list-style-type: none"> 継続・自治会の溝掃除には毎回参加できている。これからも継続していく。 継続・保育園児との交流は定期的に続けたい。

		<p>症への感染があったため一度延期した。今後、定期的な交流を続けたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会の溝掃除に参加した。 	<p>加すると思う。</p>	<p>新規・毎年恒例のたけのこ祭りでは、できるだけ多くのご利用者に役割をもってもらい、来所された地域の方と関わられるようにしたい。</p>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者以外の、近所の気になる高齢者に関する情報が入ってくれば対応するようにしている。 ・四季折々、外へ出かけて季節感を味わってもらうことができているため、今後も継続していく。 ・西地区センターまつりへの参加は恒例となっている。今後も継続したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の気になる高齢者に関する情報は入ってこなかった。 ・買い物に出かけたいという方や行きつけの床屋に行きたいという方に関しては、できるだけ個別で対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者以外の、近所の心配な人に関しては、民生委員が包括支援センターへ連絡しているので、必ずしも事業所が関わらなければならないとは思わない。 ・様々な場所に出かけているので良いと思う。運営推進会議で写真を見せてもらえるのでわかりやすく良い。 ・積極的に家族へもお出かけのお誘いをしてもらえてありがたい。少しでも楽しく過ごせるように配慮してもらえていると感じる。 	<p>継続・包括支援センターや近所の方から、利用者以外の近所の気になる高齢者に関する情報が入ってくれば対応するようにしている。</p> <p>継続・四季折々、外へ出かけて季節感を味わってもらうことができているため、今後も継続していく。</p> <p>継続・西地区センターまつりへの参加は恒例となっているので今後も継続したい。</p>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民から、地域の心配な方に関する相談などがあった場合は、運営推進会議で情報共有し、事例検討をする。 ・運営推進会議で出た意見は施設のカンファレンスで共有し、改善につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議を定期的で開催し、事業所の活動報告などができた。地域の心配な方に関する情報共有や事例検討は行っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の取り組みはいつもわかりやすく説明されている。 ・地域の心配な方の事例検討は、運営推進会議でするべきかわからない。 	<p>変更地域の心配な方に関する情報や相談が、直接事業所に入った場合は包括支援センターへ連絡し、事業所が介入することになれば、後日運営推進会議で情報共有する。</p> <p>継続・運営推進会議で出た意見は施設のカンファレンスで共有し、改善につなげていく。</p>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の防災計画が地域に周知されていないため、まずは、事業所の防災計画を運営推進会議で周知できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の改善計画は実行できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の防災訓練がない。あっても役員のみ参加である。 ・災害時も事業所は関わりやすい関係である。 ・利用者の状態の詳細がわかった方が、何かあった時に協力しやすいと思う。 	<p>継続・事業所の防災計画やBCPについて、運営推進会議で周知できるようにする。</p>